

連携だより

平成30年

3 月号

平成30年3月1日発行



独立行政法人 国立病院機構



呉医療センター・中国がんセンター
地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1

TEL 0823-22-3816

FAX 0823-32-3070

URL <http://www.kure-nh.go.jp/>

E-mail renkei@kure-nh.go.jp

理念

相手の心情に寄り添う愛のある医療を笑顔で実践します
Practice medicine from the heart,
create smiles every day

運営方針

LOVE and SMILES

診療科紹介 脳神経外科

寒くなると注意したい脳疾患

脳神経外科科長 大庭 信二

今回は「寒くなると注意したい脳の病気」についてお話しします。私達脳神経外科医は、年中ばたばたと働いていて、季節変化についてはあまり実感していません。しかし、救急診療に関して言えば、朝晩が急に冷え込む時期には、必ずどこかで誰かが倒れ、救急車で担送されてくるため、よく緊急手術をしている印象があります。

私が研修医の頃でもう、25年以上昔のことですが、ある日、とっても冷え込んだ早朝8時頃に70歳の男性が救急車で運ばれてきました。ご家族から話を聞くと患者さんは今まで病気には一切かかったことがなく、真面目で規則正しい生活をしていてとても健康であったのに、突然ゲートボール中に倒れたとのことでした。当時は、お年寄りの間でゲートボールが急に広まっていて、患者さんはいつものように早朝に集まって練習していたとのことでした。ゲートボールといえば健康維持のために推奨されているお年寄りのためのスポーツです。その最中に患者さんは倒れられたのです。いつもの場所で、いつもの時間で、いつものメンバーと一緒にいたそうです。ただ唯一違ったのは、その日の朝は急激に冷え込んだとっても寒い朝だったということでした。真面目な患者さんはどんなに寒くてもいつものように出かけて行ったのです。患者さんは脳幹というところに大出血をしていて手のつけようのない重傷でした。

もう一例あげます。その日は3月でしたがどちらかといえば昼間は小春日和のような暖かい日でした。午後6時30分に65歳の女性が救急車で運ばれてきました。ご家族から話を聞くと、患者さんは日頃から血圧がやや高かったため血圧を下げる薬を服用していたとのことでした。数日来、寒かったので外に出ることなく家にじっとしていたのですが、その日は昼間がとっても暖かかったので、夕刻前に思い立って、畑仕事に出かけ、帰宅直後に倒れたのです。手には取ったばかりの野菜をいっぱい抱え

ていたとのことでした。患者さんは大脳に大出血があり、再び意識が戻ることはありませんでした。その日は夕方から夜にかけて、昼間の暖かさが嘘のように突然再び冷えこみ、本当に寒かったという記憶があります。もしその日が日中暖かくなければ、患者さんは出かけることなく家にじっとして倒れることはなかったかもしれません。こういった事例でもわかるようにやはり、寒さと脳卒中は何らかの因果関係があるようです。

1950年代まで日本では血圧を下げる良い降圧剤はなく、さらに血圧と脳卒中との因果関係も一般の方には周知されていませんでした。そのため、特に男性の高血圧患者が著しい血圧高値保った状態で多量飲酒生活することが放置されていたのです。ですから気温の変化の中で多数の重症脳出血が冬に発症していました。一般的には昭和の中ごろまでの脳卒中のイメージは主に「男・冬・酒・血圧・脳出血」といったものでした。

現在、脳血管障害と季節との関係については、脳梗塞などの脳虚血疾患は、春に23%、冬に25%、秋に26%、夏に26%とあまり季節で差は認められません。でも条件を絞れば、男性はラクナ梗塞やアテローム血栓性脳梗塞といった小さな脳梗塞が夏の夜間に発症することが多く、女性においては心原性脳塞栓といった心臓由来の血栓が脳の血管に詰まる病気が冬の昼間に多いとされています。脳出血に限ればやはり冬に多く発症し、夏場に著しく減少傾向にあります。また、一日の中でも午前7時と午後5時に多く2峰性に発症する傾向にあるようです。クモ膜下出血も脳出血ほど違いはありませんがやはり冬場に多く発症する傾向にあります。年齢別に見たある報告は、64歳以下の比較的若年者が、65歳以上の高齢者に比べ脳卒中発症の季節変動を明瞭に認めるとしています。その理由として若年者は室外で活動する時間が高齢者よりも長いいため寒冷曝露の影響を受けやすいといわれています。

いずれにしても、寒暖の差が激しい日は、要注意であることを自覚し、脳卒中にならないように、心がける必要があります。

栄養管理室より

3月3日はひな祭りです



栄養管理室

3月3日のひな祭りは、女の子の健やかな成長と良縁を願う行事です。別名を、室町時代に中国から伝わった五節句の1つである「上巳（じょうし）の節句」、また、この上巳の節句の頃に桃の花が咲くことから「桃の節句」ともいいます。

ひな祭りのお菓子といえばひなあられ。呉医療センターでは、毎年3月3日にひなあられを提供しています。ひなあられの起源は諸説ありますが、ひし餅を外で食べるために砕いたのが始まりと言われていています。ひし餅は下から緑、白、ピンクの順番になっていて、それぞれ大地・雪・桃を表し、「雪の下には新芽が芽吹き、桃の花が咲く」という意味が込められています。また、緑色には健康・新緑の生命力、白色には清浄・純潔、ピンク色には魔除け・厄除けといった意味もあり、災厄を除き、親が娘の健康を願う気持ちが込められています。ひなあられは、このひし餅の3色に黄色を加え、ピンク、緑、黄、白の4色で四季を表し、1年を通しての幸せを祈るという意味も込められています。



ひなあられの他にも、春らしさを感じて頂けるよう、ひな祭りの行事食として『桜えび混ぜご飯』、『菜の花のお浸し』を提供します（治療食の患者さんには提供できない場合もあります）。また、小児・幼児患者さんには、桜えび混ぜご飯の代わりに『ひし餅風押し寿司』を提供しています。この『ひし餅風押し寿司』は、ご自宅でも牛乳パックを使って作ることができます。ぜひお試しください。

ひし餅風押し寿司（1人分）

米飯	200g
ちらし寿司の素	60g
ほうれん草	15g
芝えび	1尾 (10g)
絹さや	1枚 (2g)
桜でんぶ	5g
白ごま	小さじ1/2 (1g)
錦糸卵	10g



- ①牛乳パックの底の部分を切り落として筒状にし、6cm幅に切ってひし形に用意しておきます。
 - ②ご飯にちらし寿司の素を混ぜて冷まし、3等分にしておきます。
 - ③ほうれん草、芝エビ、さや豆はそれぞれ茹でておき、ほうれん草は絞って水気を取っておきます。
 - ④牛乳パックに②で用意したご飯（1/3量）を詰めてスプーンで押さえ、その上にほうれん草をのせます。
 - ⑤④の上にご飯（1/3量）を詰めてスプーンで押さえ、桜でんぶを振りかけます。
 - ⑥残っているご飯に白ごまを混ぜ込み、⑤の上に詰めてスプーンで押さえます。
 - ⑦最後に錦糸卵をのせてラップを掛け、上から軽く押さえます。
 - ⑧牛乳パックをそっと抜き取り、さや豆とえびを飾ってできあがり♪
- ※牛乳パックはきれいに洗ってから使ってください



栄養管理室スタッフ一同

PETだより (No.32)

- ・現在、大腸癌シリーズの途中ですが、ここでちょっと告知をさせていただきます。
- ・本年4月より当院PET検査室において、心臓サルコイドーシスの検査を開始致します。
- ・サルコイドーシス患者の中で心臓サルコイドーシスを合併する頻度は、欧米に比べ日本人に多いとされ、特に本邦におけるサルコイドーシス死亡例の3分の2は心臓病変によるものとされています。
- ・PETでは心臓サルコイドーシスの活動性炎症の評価が有用とされています。
- ・このため心臓サルコイドーシスに対するFDG-PETは現在保険適応となっています。
→なお残念ながら、サルコイドーシス自体はPETの保険適応ではありません。
- ・心臓サルコイドーシスのPET検査のご依頼に関しては、以下の点にご留意下さい。
 - まず当院の循環器内科宛に紹介をお願いします。ここで循環器内科医師の診察を受けて頂き、PET検査の適応か否かを判断させていただきます。
 - 本症に対するPETは、食事制限が通常のPET検査より長く、また食事内容の具体的な説明が必要となります。また当日ヘパリンの注射なども行います。
 - なお紹介に際しましては、臨床的に心臓サルコイドーシスが強く疑われる症例、もしくは確定例に限定してください。ルーチンでの本症の除外目的での依頼はご遠慮ください。



放射線診断科科长 豊田 尚之

消化器合同オープンカンファレンス

日時 平成30年 **3月14日 (水)** 19:00~

場所 呉医療センター・中国がんセンター 外来棟4階
地域医療研修センター1・2

演題 「肝・胆・膵及び上部下部消化管を対象疾患とし、
画像診断から手術・病理診断まで担当各科で検討」

症例1：胃体下部の早期胃癌に対して

腹腔鏡下幽門側胃切除を施行した1例

症例2：膵尾部腫瘍に対して膵体尾部脾切除術を施行した1例



2/1付 採用医師紹介

救急部

小林 靖孟



専門 救急一般、ER型救急、集中治療

資格等 救急科専門医、認定病院総合診療医、ICLSインストラクター、FCCSアソシエイトインストラクター、JPTEC/JATECプロパイダー、MCCRC in Japan 履修

趣味 硬式テニス、大道芸（ジャグリング・けん玉）

ご挨拶 初期臨床研修以来の呉市における勤務となります。救急外来や集中治療室で、ある時はリーダーとして、ある時は下支えとして、「患者さんの利益が第一」をモットーに地域へ貢献できればと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者さんのご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきますので、「救急外来受付」まで電話でご連絡いただきますようお願い申し上げます。

平日 昼間 8:30~17:15 0823-22-3111
土・日および夜間 17:15~8:30 0823-23-1020

がんサロンのご案内

日時：3月9日（金） 場所：外来棟4階 第1・2研修センター
14:00~15:00 内容：「介護保険について」

オストメイトサロンのご案内

日時：3月22日（木） 場所：外来棟4階 第3研修室
14:00~15:00 内容：「災害時の備えについて」



第95回



「がんサロン」のお知らせ

内容 介護保険について

講師 相談員 折本



日時 平成30年3月9日(金)
14:00~15:00

場所 呉医療センター外来棟4階
地域医療研修センター第3

※ 申し込み 不要

院外問わず、どなたでも参加は自由です。

〈お問い合わせ先〉

呉医療センター・中国がんセンター
がん相談支援センター

電話 0823 - 24 - 6358 (平日9時~16時)

第17回 「オストメイトサロン」 のお知らせ

※オストメイトとは
ストーマ（人工肛門・人工膀胱）
を持っている方のことをいいます

ストーマの扱いや生活の中での工夫など、普段疑問に思っていることや、聞いてみたいことはありませんか？
オストメイトやそのご家族のための情報交換の場です。
お気軽にご参加ください。



内容 災害時の備えについて

日時 平成30年3月22日（木）
14：00～15：00

場所 呉医療センター外来棟4階
地域医療研修センター第3

※申込みは不要です。
直接会場へお越しください。

【 お問い合わせ 】
呉医療センター・中国がんセンター
がん相談支援センター
電話 0823-24-6358 （平日9時～16時）



3月の時間外 研修会／勉強会

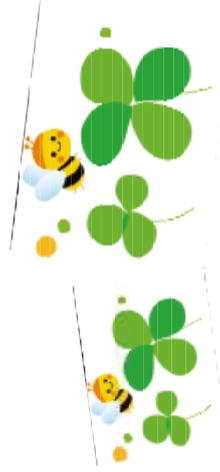


【連絡先】

独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 管理課 庶務係 (教育企画課)
 広島県呉市青山町3番1号 / TEL:0823-22-3111 / E-MAIL: <http://www.kure-nh.go.jp/>



研修会名	日時	場所	講師 ※敬称略	担当部署	院外参加	対象職種
コメディカルのお薬勉強会 「食道がんについて」	3月12日 (月) 18:00～19:00	11Fカンファレンス室	呉医療センター 薬剤部 柏原 志保	薬剤部	院内 向け	看護師 助産師 コメディカル
消化器合同オープンカンファレンス 肝・胆・膵及び上部下部消化管を対象疾患とし、 画像診断から手術・病理診断まで担当各科で検討。	3月14日 (水) 19:00～	地域研修センター1・2	呉医療センター 消化器内科 外科 放射線診断科 病理診断科	消化器内科	○	全職種



自己研鑽で専門性を高めましょう！

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1 **地域医療連携室**
独立行政法人 国立病院機構 中野 喜久雄 清水 洋祐
呉医療センター・中国がんセンター 森下 早苗 折本 陽一
 TEL: (0823) 22-3816